

		混合物ID	blq-spo-b*-*****
		作成日	2023/3/9
		改訂日	2024/3/19
		判定ルール	JIS
		対応版	GHS 6版
安全データシート（SDS）			
1. 化学品等及び会社情報			
化学品の名称（日本語）		シンベラ クールネックリング 28℃ 自然凍結 24年80%大増量 ネッククーラー アイス クールリング 首掛け 冷却 暑さ対策グッズ 繰り返し使用可能 冷感	
ブランド名		C I C I B E L L A	
製品コード		blq-spo-b*-*****	
メーカー名		L a B e l l a 株式会社	
住所		日本東京都渋谷区渋谷 3 丁目 1 - 8	
電話番号		+81-03-6434-1268	
電子メールアドレス		ritatu1028@gmail.com	
ファックス番号		+81-03-6434-1265	
緊急連絡電話番号		+81-03-6434-1268	
2. 危険有害性の要約			
GHS分類		本製品はGHS分類基準に該当しない。	
物理化学的危険性		区分に該当しない（分類対象外）	
健康に対する有害性		飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ	
環境に対する有害性		有害性該当区分なし	
GHSラベル要素		該当なし	
注意喚起語		該当なし	
危険有害性情報			
注意書き			
安全対策		該当なし	
応急措置		該当なし	
保管		該当なし	
廃棄		内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。	
3. 組成及び成分情報			
化学物質・混合物（製品）の区別		混合物	
成分及び濃度又は濃度範囲			
組成物質（1）		オクタデカン（90.00 %）	CAS RN：593-45-3
組成物質（2）		TPU(熱可塑性ポリウレタン）（10.00%）	CAS RN：9009-54-5
官報公示整理番号（化審法）		オクタデカン：209-790-3	TPU(熱可塑性ポリウレタン）：618-449-1
備考			
4. 応急措置			
吸入した場合		空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。	
皮膚に付着した場合		直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。	
眼に入った場合		水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。	
飲み込んだ場合		直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。	
急性症状の最も重要な徴候症状		なし	
遅発性症状の最も重要な徴候症状		なし	
応急措置をする者の保護に必要な注意事項		救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。	
医師に対する特別な注意事項		直ちに医師の診察を受ける。	
備考			
5. 火災時の措置			
適切な消火剤		水噴霧、粉末消火薬剤、二酸化炭素、泡消火薬剤。	
使ってはならない消火剤		利用可能な情報はない。	
火災時の特有の危険有害性		利用可能な情報はない。	
特有の消火方法		消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。関係者以外は安全な場所に退去させる。周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。	
消火活動を行う者の特別な保護具		空気式呼吸器（SCBA）を着用する。	
消火活動を行う者の予防措置		自給式呼吸器を含む完全保護衣を着用する。	
備考			
6. 漏出時の措置			
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置		個人用保護具を着用する。 漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。 適切な保護具を着用する。	
環境に対する注意事項		漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。 下水、排水中に流してはならない。 粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。	
封じ込め方法及び機材・材料		付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。	
浄化方法及び機材・材料			
備考			
7. 取扱い及び保管上の注意			

取り扱い_技術的対策	取扱いは換気のよい場所で行う。 適切な保護具を着用する。 粉塵が飛散しないように注意する。 取扱い後は手や顔などをよく洗う。 できれば、密閉系で取扱う。
取り扱い_安全取扱注意事項	粉塵やエアゾールが発生する場合には、局所排気を用いる。
取り扱い_衛生対策	眼、皮膚につけないこと。
保管_安全な保管条件	容器を密栓して冷暗所に保管する。 施錠して保管する。
保管_安全な容器包装材料	酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。
備考	法令の定めるところに従う。
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度	設定されていない。
管理濃度	設定されていない。
設備対策	密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。
呼吸用保護具	防塵・防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。
手の保護具	不浸透性の手袋。
目、顔面の保護具	保護眼鏡(ゴーグル型)。状況に応じ保護面。
皮膚及び身体の保護具	不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。
特別な注意事項	
備考	   
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	固体
色	なし
臭い	なし
融点・凝固点	なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	なし
可燃性	データしない
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	なし
引火点	なし
自然発火点	なし
分解温度	なし
PH	なし
動粘性率	なし
溶解度	なし
n-オクタノール／水分分配係数 (log値)	なし
蒸気圧	なし
密度及び／又は相対密度	なし
相対ガス密度	なし
粒子特性	適用外
その他のデータ	なし
備考	
10. 安定性及び反応性	
反応性	反応性データなし
化学的安定性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件	高温を避けること。凍結させないこと。
混触危険物質	混触危険物質データなし
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物データなし
備考	
11. 有害性情報	
急性毒性	本品についてのデータはない。
皮膚腐食性／刺激性	本品についてのデータはない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	本品についてのデータはない。
生殖細胞変異原性	本品についてのデータはない。
発がん性	TPU(熱可塑性ポリウレタン) (10.00%) : 区分3
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	本品についてのデータはない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	本品についてのデータはない。
備考	
12. 環境影響情報	
水生環境有害性 短期 (急性)	本品についてのデータはない。
水生環境有害性 長期 (慢性)	本品についてのデータはない。
生態毒性	本品についてのデータはない。
残留性と分解性	低い
生体蓄積性	低い
土壤中の移動性	オクタデカン (90.00 %) : 低い TPU(熱可塑性ポリウレタン) (10.00%) : 230800
PBTおよびvPvBアセスメントの結果	Not PBT/vPvB TPU(熱可塑性ポリウレタン) (10.00%) : 十分な情報がなく、一時的に評価ができません。
13. 廃棄上の注意	





環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	該当法規に従って廃棄処理する。 次の何れかの方法を選択して処理する。 ① 可燃性溶剤に溶解又は混合して、アフターバーナー及びスクラパー付きインシネレーターの中で焼却する。 ② 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合は、そこに内容を明示して委託処理する。 ③ 空容器は、許可を受けた産業廃棄物処理施設に廃棄する。
備考	

1 4. 輸送上の注意	
国際規制	
国連番号	設定されていない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類（危険有害性クラス）	該当しない
国連分類（危険有害性クラス：副次危険）	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質（該当・非該当）	非該当
MARPOL73/78附属書Ⅱ及びIBCコードに	非該当
よるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）	
国内規制がある場合の規制情報	
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
陸上規制情報	該当しない
緊急時応急措置指針番号*	
*北米緊急時応急措置指針に基づく。米国運輸省が中心となって発行した「Emergency Response Guidebook (ERG)」（一般社団法人日本化学工業協会によって和訳されている（発行元：日本規格協会）に掲載されている。	
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	該当しない
その他の注意	
備考	

1 5. 適用法令	
労働安全衛生法	非該当
化管法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
その他の国内法令	非該当
外国法令等	非該当
備考	

1 6. その他の情報	
安全上重要であるがこれまでの項目名に直接関連しない情報	
このSDSは、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。 ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先してください。 ご購入いただいた商品は、安全性の点からも速やかに消費されることを大前提としております。その後、新たな情報や修正が加えられる場合もありますので万一ご使用時期が大幅にずれ込んだり、ご懸念を抱かれた場合には、改めて弊社にご相談ください。 また記載の注意事項は通常の取扱を対象としたものであって、特別な取扱をする場合は状況に適した安全対策を実施の上、充分な注意を払う必要があります。 すべての化学製品は『未知の危険性、有害性がある』という認識で扱うべきであり、その危険性、有害性も使用時の環境、扱い方、あるいは保管の状態、期間によって大きく異なります。ご使用時はもちろんのこと、開封から保管、廃棄に至るまで、専門的知識、経験のある方のみ、あるいはそれらの方々の指導のもとで取扱うことを警告します。 ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるよう、お願い申し上げます。	
参考文献	JIS Z 7252:2019 JIS Z 7253:2019 GHS対応ガイドライン 2023年9月（一般社団法人 日本化学工業協会） NITE ECHA メーカーSDS
備考	

		作成日	2023/2/9
		改訂日	2024/1/10
		判定ルール	JIS
		対応版	GHS 6版
安全データシート（SDS）			
1. 化学品等及び会社情報			
化学品の名称（日本語）	TPU(熱可塑性ポリウレタン)		
製品コード			
メーカー名	上海比陽実業有限公司		
住所	上海市普陀区金沙江路1628弄5号ビル		
電話番号	+86 021-52699951		
電子メールアドレス	sales@beyondindustriesgroup.com		
ファックス番号	+86 021-51206196		
緊急連絡電話番号	+86 021-52699951		
2. 危険有害性の要約			
GHS分類	本製品はGHS分類基準に該当しない。		
物理化学的危険性	区分に該当しない（分類対象外）		
健康に対する有害性	有害性該当区分なし		
環境に対する有害性	有害性該当区分なし		
GHSラベル要素	該当なし		
注意喚起語	該当なし		
危険有害性情報			
注意書き			
安全対策	該当なし		
応急措置	該当なし		
保管	該当なし		
廃棄	該当なし		
GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性	本製品は化学的に安定であるが、用途上加熱を伴うことがあり人体への影響が考えられる。 また、粉塵の発生が考えられるので取扱いに注意すること。		
3. 組成及び成分情報			
化学物質・混合物（製品）の区別	化学物質		
化学名	TPU(熱可塑性ポリウレタン)		
別名	熱可塑性ポリウレタンエラストマー		
成分及び濃度又は濃度範囲			
組成物質（1）	ポリウレタン樹脂 99%以上	CAS RN：9009-54-5	
官報公示整理番号（化審法）	7-858		
備考	化学物質管理促進法（PRTR法 平成11年法律第86号）で規定する対象物質は含有されていない 労働安全衛生法第57条の2に規定される「1%以上の通知すべき物質」はない		
4. 応急措置			
吸入した場合	高温の溶融樹脂から発生するガスをひどく吸入したときは、被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移し、体を毛布等で覆い、保温し、安静にする		
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。		
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。		
飲み込んだ場合	可能であれば指をのどに差し込んで吐かせる		
急性症状の最も重要な徴候症状	なし		
遅発性症状の最も重要な徴候症状	なし		
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。		
医師に対する特別な注意事項	直ちに医師の診察を受ける。		
備考			
5. 火災時の措置			
適切な消火剤	水噴霧、粉末消火薬剤、二酸化炭素、泡消火薬剤。		
使ってはならない消火剤	利用可能な情報はない。		
火災時の特有の危険有害性	利用可能な情報はない。		
特有の消火方法	消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。関係者以外は安全な場所に退去させる。 周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。		
消火活動を行う者の特別な保護具	空気式呼吸器（SCBA）を着用する。		
消火活動を行う者の予防措置	自給式呼吸器を含む完全保護衣を着用する。		
備考			
6. 漏出時の措置			
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	個人用保護具を着用する。 漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。 適切な保護具を着用する。		
環境に対する注意事項	漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。 下水、排水中に流してはならない。		
封じ込めの方法及び機材・材料	粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。		
浄化の方法及び機材・材料	付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。		

備考	
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い_技術的対策	取扱いは換気のよい場所で行う。 適切な保護具を着用する。 粉塵が飛散しないように注意する。
取扱い_安全取扱注意事項	取扱い後は手や顔などをよく洗う。 できれば、密閉系で取扱う。 粉塵やエアゾールが発生する場合には、局所排気を用いる。
取扱い_衛生対策	眼、皮膚につけないこと。
保管_安全な保管条件	容器を密栓して冷暗所に保管する。 施錠して保管する。
保管_安全な容器包装材料	酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。
備考	法令の定めるところに従う。
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度	設定されていない。
管理濃度	設定されていない。
設備対策	密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。
呼吸用保護具	防塵・防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。
手の保護具	不浸透性の手袋。
目、顔面の保護具	保護眼鏡(ゴーグル型)。状況に応じ保護面。
皮膚及び身体の保護具	不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。
特別な注意事項	
備考	   
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	固体
色	なし
臭い	なし
融点・凝固点	なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	なし
可燃性	燃焼する
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	なし
引火点	220℃
自然発火点	なし
分解温度	なし
PH	なし
動粘性率	なし
溶解度	不溶
n-オクタノール／水分配係数 (log値)	なし
蒸気圧	なし
密度及び／又は相対密度	なし
相対ガス密度	なし
粒子特性	適用外
その他のデータ	なし
備考	
10. 安定性及び反応性	
反応性	反応性データなし
化学的安定性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件	高温を避けること。凍結させないこと。
混触危険物質	混触危険物質データなし
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物データなし
備考	
11. 有害性情報	
急性毒性	本品についてのデータはない。
皮膚腐食性／刺激性	本品についてのデータはない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	本品についてのデータはない。
生殖細胞変異原性	本品についてのデータはない。
発がん性	区分3
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	本品についてのデータはない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	本品についてのデータはない。
備考	
12. 環境影響情報	
水生環境有害性 短期 (急性)	本品についてのデータはない。
水生環境有害性 長期 (慢性)	本品についてのデータはない。
生態毒性	本品についてのデータはない。
残留性と分解性	低い
生体蓄積性	低い
土壌中の移動性	23800
PBTおよびPvBアセスメントの結果	十分な情報がなく、一時的に評価できません。

1 3. 廃棄上の注意	
環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	該当法規に従って廃棄処理する。 次の何れかの方法を選択して処理する。 ① 可燃性溶剤に溶解又は混合して、アフターバーナー及びスクラパー付きインシナレーターの中で焼却する。 ② 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合は、そこに内容を明示して委託処理する。 ③ 空容器は、許可を受けた産業廃棄物処理施設に廃棄する。
備考	
1 4. 輸送上の注意	
国際規制	
国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類（危険有害性クラス）	該当しない
国連分類（危険有害性クラス：副次危険）	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質（該当・非該当）	非該当
MARPOL73/78附属書II及びIBCコードに	非該当
よるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）	
国内規制がある場合の規制情報	
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
陸上規制情報	該当しない
緊急時応急措置指針番号*	
*北米緊急時応急措置指針に基づく。米国運輸省が中心となって発行した「Emergency Response Guidebook (ERG)」（一般社団法人日本化学工業協会によって和訳されている（発行元：日本規格協会）に掲載されている。	
輸送又は輸送手段に関する特別な安全対策	該当しない
その他の注意	
備考	
1 5. 適用法令	
	非該当
労働安全衛生法	非該当
化管法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
その他の国内法令	非該当
外国法令等	非該当
備考	
1 6. その他の情報	
安全上重要であるがこれまでの項目名に直接関連しない情報	
	このSDSは、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。 ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先してください。 ご購入いただいた商品は、安全性の点からも速やかに消費されることを大前提としております。その後、新たな情報や修正が加えられる場合もありますので万一ご使用時期が大幅にずれ込んだり、ご懸念を抱かれた場合には、改めて弊社にご相談ください。 また記載の注意事項は通常の取扱を対象としたものであって、特別な取扱をする場合は状況に適した安全対策を実施の上、充分な注意を払う必要があります。 すべての化学製品は『未知の危険性、有害性がある』という認識で扱うべきであり、その危険性、有害性も使用時の環境、扱い方、あるいは保管の状態、期間によって大きく異なります。ご使用時はもちろんのこと、開封から保管、廃棄に至るまで、専門的知識、経験のある方のみ、あるいはそれらの方々の指導のもとで取扱うことを警告します。 ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるよう、お願い申し上げます。
参考文献	JIS Z 7252:2019 JIS Z 7253:2019 GHS対応ガイドライン 2023年9月（一般社団法人 日本化学工業協会） NITE ECHA メーカーSDS
備考	

		作成日	2023/2/9
		改訂日	2024/1/10
		判定ルール	JIS
		対応版	GHS 6版
安全データシート（SDS）			
1. 化学品等及び会社情報			
化学品の名称（日本語）	オクタデカン		
製品コード			
メーカー名	上海比陽実業有限公司		
住所	上海市普陀区金沙江路1628弄5号ビル		
電話番号	+86 021-52699951		
電子メールアドレス	sales@beyondindustriesgroup.com		
ファックス番号	+86 021-51206196		
緊急連絡電話番号	+86 021-52699951		
2. 危険有害性の要約			
GHS分類	本製品はGHS分類基準に該当しない。		
物理化学的危険性	区分に該当しない（分類対象外）		
健康に対する有害性	吸入又は飲み込んだ場合有害である。眼、粘膜に接触すると刺激作用がある。長期ばく露等により不快感、吐き気、頭痛などの症状を起こすことがある。		
環境に対する有害性	有害性該当区分なし		
GHSラベル要素	注意喚起語	なし	
	保管		
	廃棄	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。	
3. 組成及び成分情報			
化学物質・混合物（製品）の区別	化学物質		
化学名	オクタデカン		
化学式	C18H38		
分子量	254.5		
官報公示整理番号（化審法）	(2) -10	CAS RN：593-45-3	
備考	安衛法：設定されていない		
4. 応急措置			
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。		
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。		
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。		
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。		
急性症状の最も重要な徴候症状	なし		
遅発性症状の最も重要な徴候症状	なし		
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。		
医師に対する特別な注意事項	直ちに医師の診察を受ける。		
備考			
5. 火災時の措置			
適切な消火剤	水噴霧、粉末消火薬剤、二酸化炭素、泡消火薬剤。		
使ってはならない消火剤	利用可能な情報はない。		
火災時の特有の危険有害性	利用可能な情報はない。		
特有の消火方法	消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。関係者以外は安全な場所に退去させる。		
	周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。		
消火活動を行う者の特別な保護具	空気式呼吸器（SCBA）を着用する。		
消火活動を行う者の予防措置	自給式呼吸器を含む完全保護衣を着用する。		
備考			
6. 漏出時の措置			
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	個人用保護具を着用する。		
	漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。		
	漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。		
環境に対する注意事項	適切な保護具を着用する。		
	漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。		
	下水、排水中に流してはならない。		
封じ込めの方法及び機材・材料	粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。		
浄化の方法及び機材・材料	付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。		
備考			
7. 取扱い及び保管上の注意			
取り扱い_技術的対策	取扱いは換気のよい場所で行う。		
	適切な保護具を着用する。		
	粉塵が飛散しないように注意する。		
	取扱い後は手や顔などをよく洗う。		

取り扱い_安全取扱注意事項	できれば、密閉系で取扱う。 粉塵やエアゾールが発生する場合には、局所排気を用いる。 眼、皮膚につけないこと。 容器を密栓して冷暗所に保管する。 施錠して保管する。 酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。 法令の定めるところに従う。
取り扱い_衛生対策	
保管_安全な保管条件	
保管_安全な容器包装材料	
備考	
8．ばく露防止及び保護措置	
許容濃度	設定されていない。
管理濃度	設定されていない。
設備対策	密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。 防塵・防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。
呼吸用保護具	不浸透性の手袋。
手の保護具	保護眼鏡(ゴーグル型)。状況に応じ保護面。
目、顔面の保護具	不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。
皮膚及び身体の保護具	
特別な注意事項	
備考	
9．物理的及び化学的性質	
物理状態	固体
色	白色
臭い	なし
融点・凝固点	28℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	317℃
可燃性	なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	なし
引火点	154℃
自然発火点	227℃
分解温度	なし
PH	なし
動粘性率	1.85mm2/s(20℃)
溶解度	不溶
n-オクタノール／水分分配係数 (log値)	なし
蒸気圧	133Pa/119℃
密度及び／又は相対密度	0.777 g/mL(25℃)
相対ガス密度	8.8
粒子特性	なし
その他のデータ	なし
備考	
10．安定性及び反応性	
反応性	反応性データなし
化学的安定性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件	高温を避けること。凍結させないこと。
混触危険物質	混触危険物質データなし
危険有害な分解生成物	二酸化炭素,一酸化炭素
備考	
11．有害性情報	
急性毒性	本品についてのデータはない。
皮膚腐食性／刺激性	本品についてのデータはない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	本品についてのデータはない。
生殖細胞変異原性	本品についてのデータはない。
発がん性	本品についてのデータはない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	本品についてのデータはない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	本品についてのデータはない。
備考	
12．環境影響情報	
水生環境有害性 短期（急性）	本品についてのデータはない。
水生環境有害性 長期（慢性）	本品についてのデータはない。
生態毒性	本品についてのデータはない。
残留性と分解性	低い
生体蓄積性	低い
土壌中の移動性	低い
PBTおよびPvPBアセスメントの結果	十分な情報がなく、一時的に評価できません。
13．廃棄上の注意	
環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	該当法規に従って廃棄処理する。 次の何れかの方法を選択して処理する。 ① 可燃性溶剤に溶解又は混合して、アフターバーナー及びスクラパー付きインシレーターの中で焼却する。 ② 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合は、そこに内容を明示して委託処理する。

備考		③ 空容器は、許可を受けた産業廃棄物処理施設に廃棄する。
14. 輸送上の注意		
国際規制		
国連番号		該当しない
品名（国連輸送名）		該当しない
国連分類（危険有害性クラス）		該当しない
国連分類（危険有害性クラス：副次危険）		該当しない
容器等級		該当しない
海洋汚染物質（該当・非該当）		非該当
MARPOL73/78附属書II及びIBCコードに		非該当
よるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）		
国内規制がある場合の規制情報		
	海上規制情報	該当しない
	航空規制情報	該当しない
	陸上規制情報	該当しない
緊急時応急措置指針番号*		
*北米緊急時応急措置指針に基づく。米国運輸省が中心となって発行した「Emergency Response Guidebook (ERG)」（一般社団法人日本化学工業協会によって和訳されている（発行元：日本規格協会）に掲載されている。		
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		該当しない
その他の注意		
備考		
15. 適用法令		
		非該当
労働安全衛生法		非該当
化管法		非該当
毒物及び劇物取締法		非該当
その他の国内法令		非該当
外国法令等		非該当
備考		
16. その他の情報		
安全上重要であるがこれまでの項目名に直接関連しない情報		
このSDSは、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。		
ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先してください。		
ご購入いただいた商品は、安全性の点からも速やかに消費されることを大前提としております。その後、新たな情報や修正が加えられる場合もありますので万のご使用時期が大幅にずれ込んだり、ご懸念を抱かれた場合には、改めて弊社にご相談ください。		
また記載の注意事項は通常の取扱を対象としたものであって、特別な取扱をする場合は状況に適した安全対策を実施の上、充分な注意を払う必要があります。		
すべての化学製品は『未知の危険性、有害性がある』という認識で扱うべきであり、その危険性、有害性も使用時の環境、扱い方、あるいは保管の状態、期間によって大きく異なります。ご使用時はもちろんのこと、開封から保管、廃棄に至るまで、専門的知識、経験のある方のみ、あるいはそれらの方々の指導のもとで取扱うことを警告します。		
ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるよう、お願い申し上げます。		
参考文献	JIS Z 7252:2019	
	JIS Z 7253:2019	
	GHS対応ガイドライン 2023年9月（一般社団法人 日本化学工業協会）	
	NITE	
	ECHA	
備考	メーカーSDS	